

必ず受けよう特定健診

住民（集団）健診について

特定健診を受診するもう一つの方法として「集団健診」があります。松浦市住民（集団）健診では特定健診のほかにも、がん検診（年齢制限あり）や若年者健診（20歳から39歳対象）、後期高齢者医療健診も同時に行っています。

健康ほけん課から対象者へ、4月に松浦市住民（集団）健診申込書を送付しており、事前申し込みの受け付けは終了していますが、当日の受診申し込みも可能です。

事前申し込みをしない人で受診を希望する人は、松浦市住民（集団）健診申込書と特定健康診査受診券、および国民健康保険証（後期高齢者医療保険証）を持参し、下記の日程で受診をしてください。

特定健診による生活習慣病の予防・改善の効果を上げるには、対象者である皆さんが特定健診を受診することが肝心です。

健康づくりのスタートとして、ぜひ特定健診を受診してください。



平成 25 年度 住民（集団）健診日程表

期 日	場 所	受付時間	地区等	胃がん	大腸がん	肺がん結核	子宮がん	乳がん	骨粗鬆症	前立腺	歯周疾患	若年者健診	特定健診	後期健診	
6/3 (月)	福島保健センター	8:30 ~ 10:30 13:30 ~ 14:30	浅谷・端・喜内瀬		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/4 (火)			伊万里釜・里	午前のみ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/5 (水)			播磨釜・福崎・日の浦		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/6 (木)	鍋串公民館	8:30 ~ 10:30	土谷・原・鍋串	午前のみ	午前のみ	午前のみ	×	×	×	午前のみ	×	午前のみ	午前のみ	午前のみ	
	福島保健センター	13:30 ~ 14:30	自由	×	午後のみ	午後のみ	×	×	×	午後のみ	×	午後のみ	午後のみ	午後のみ	
6/11 (火)	船唐津公民館	8:30 ~ 11:00	三里・船唐津	午前のみ	午前のみ	午前のみ	×	×	×	午前のみ	×	午前のみ	午前のみ	午前のみ	
6/12 (水)	開発総合センター	8:30 ~ 11:00 13:00 ~ 14:00	中通・石川・殿ノ浦	午前のみ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/13 (木)			里・日比・神崎・原		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/14 (金)	阿翁浦公民館	8:30 ~ 11:00 13:00 ~ 14:00	阿翁浦・阿翁・黒島	午前のみ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/22 (土)	文化会館	8:30 ~ 10:30 13:30 ~ 14:30	自由	午前のみ	○	○	○	○	○	○	午後のみ	○	○	○	
6/23 (日)			御厨・星鹿		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6/24 (月)	文化会館休館日のため、全健診行いません。														
6/25 (火)	文化会館	8:30 ~ 10:30 13:30 ~ 14:30	調川・今福	午前のみ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/26 (水)			志佐		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/27 (木)			御厨・星鹿		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/28 (金)			調川・今福		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
6/29 (土)			志佐		○	○	○	○	○	○	○	午後のみ	○	○	○
6/30 (日)			自由		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7/1 (月)	文化会館休館日のため、全健診行いません。														
7/2 (火)	文化会館	8:30 ~ 10:30 13:30 ~ 14:30	自由	午前のみ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
7/3 (水)			自由		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	

※婦人がん検診などを受診希望する福島町（土谷・原・鍋串）の人は6/3～6/5の健診で受診してください。
 ※婦人がん検診などを受診希望する鷹島町（三里・船唐津）の人は6/12～6/13の健診で受診してください。

受章おめでとうございます

春の叙勲・危険業務従事者叙勲の受章者を紹介します。

春の叙勲 瑞宝単光章（消防功労）

永田 恵さん
めぐむ

（福島・土谷、72）



昭和35年8月、地域住民の要望に
応えて福島町消防団に入団し、その
後、昭和58年4月に副団長に就任さ
れました。

機会あるごとに経験と指導力を発
揮され、その姿は地域住民に信頼感
を与え、消防団員・幹部としての自覚
と堅実な行動は感謝と敬意の念を持
たれました。

災害現場だけでなく訓練の場にお
いても若手団員の指導育成に力を注
ぎ34年6カ月の永きにわたる職責を
完遂されました。

危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章（防衛功労）

村田 浩さん
ひろし

（星鹿・大石、61）



昭和45年4月の陸上自衛隊入隊か
ら平成17年12月の定年退職まで、常
に旺盛な責任感を持って積極的に職
務を遂行され、自衛隊の充実発展に
尽力されました。

中でも、第4戦車大隊本部業務幹
部として卓越した企画力・調整力を
もって複雑多岐にわたる諸業務を整
斉円滑に実施、各種行事では上級部
隊と綿密に連携し、安全管理に留意
した管理支援体制に万全を期するな
ど、隊務運営に大きく貢献されまし
た。

わたしたちの郷土

— 87巻 —

中世の松浦 (53) 鷹島海底遺跡

鷹島海底遺跡からの船材および木材については、松浦市鷹島海底遺
跡調査指導委員会船舶専門部会委員である東京大学名誉教授安達裕
之先生（日本海事史学会会長）に実見をお願いしております。

安達先生からのご指摘によると、至元18年（1281年）5月に高麗を
出発した東路軍と6月に寧波近海を出発した江南軍は、7月に平戸で
合流して鷹島に移り、閏7月1日の暴風雨により壊滅。そのため、遺
跡から大量の船の部材が出土しており、海底の部材の分布状況とこれ
までの調査結果から、水船となって沈没した船が着底し長い年月を経
て釘が腐って船体がばらばらになり、潮の流れや地形の条件などによっ
て部材がさまざまに堆積したと考えられるそうです。

そして、出土するのは複数の船の多
種多様な部材であるため、それをジグ
ソーパズルのように組合せて、船を復
元することは不可能であるばかりで
なく、長年、海底にあって腐食が進み、
原型をとどめない部材も多く、船体の
どこに使われたかを判断するのもな
かなか難しい状況であるということ
です。

そのような中で、平成23年秋に琉
球大学の池田教授の研究チームが発
見された元の軍船は世界の船舶史・
海洋技術史の貴重な資料になります。



▲元の軍船の竜骨部分（上）と漆喰（下）状況